

映画『長江にいきる 秉愛の物語』上映 & ^{フォン・イエン}馮 艶 監督トーク

日時：2024年9月28日(土) 13時～16時30分 (開場:12時30分)

会場：日本映画大学 新百合ヶ丘校舎 4階 大教室 主催：日本映画大学

入場無料・申込制

『長江にいきる 秉愛の物語』上映 (13:00～15:00) ※開場 12:30



2009年に公開された本作は、山形国際ドキュメンタリー映画祭2007 アジア千波万波部門 小川紳介賞(グランプリ)受賞。その他、様々な国際映画祭に出品され、数々の賞を受賞した。日本に留学経験もある中国人女流監督・馮艶(フォン・イエン)が、中国農村部で生きる人々の姿を通して、厳しい現実を浮き彫りにする。

【あらすじ】

中国一の大河・長江でダム建設工事が推し進められ、周辺の海拔の低い家々の住人達は移住を余儀なくされていた。体の弱い夫と育ち盛りの子供たちを養うビンアイは、移住に頑固に抵抗するが、一家は次第に追い詰められていく……。学もコネもなく、ただつつまじやかに暮らしていた女性ビンアイが、移住計画を推し進める国に対し、抵抗し続けた7年間を記録したドキュメンタリー。

フォン・イエン

馮 艶 監督トーク (15:00～16:30)

『長江にいきる 秉愛の物語』上映後には、監督である馮艶(フォン・イエン)さんをオンラインでお招きし、公開授業を開催致します。

馮 艶(フォン・イエン)監督



1962年天津生まれ。天津の大学で日本文学を学んだ後、日本に留学。1988年から13年間日本に滞在し、京都大学大学院経済学研究科博士課程で農業経済学を研究する。1993年の山形国際ドキュメンタリー映画祭でドキュメンタリー映画作家小川紳介(1935～1992)の語りを収録した『映画を獲るードキュメンタリーの至福を求めて』(山根貞男編集・筑摩書房)と出会い、触発されて中国語に翻訳し台湾で出版する。1994年、映像ジャーナリストの集団アジアプレス・インターナショナルに入り、写真とビデオ制作を学び、ドキュメンタリー製作を開始。学校に行けない子どもたちや、三峡ダムで水没する長江沿岸部など中国農村部の人々の暮らしを撮り続ける。『長江の夢』(1997,85分)が初長編作品。山形国際ドキュメンタリー映画祭'97 アジア千波万波、第22回台湾国際ドキュメンタリー祭(優秀記録賞)、香港国際映画祭1998などで上映された。現在三峡移民を描く一連の作品群の集大成となる『長江の女たち』(仮題)の編集集中。

申し込み方法

右記の専用フォーム(QRコード)、または下記 URL よりお申込みください。

<https://docs.google.com/forms/d/1t5cju3heEFIJg0tkFmUc4CEDL5E4DBJYZKBVsrNiTbE/edit>

※定員 80名(先着順)



会場

〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺 1-16-30

日本映画大学 新百合ヶ丘校舎4F 大教室

お問い合わせ

r.shimada@eiga.ac.jp(担当:島田)